

新発売

**オムニカのウコンは最大500倍以上!
オムニカのクルクミンは脳にも届く!**

UCLA育ちのクルクミン含有ウコン素材

longvida™

ロングヴィーダ

 **Omnic**[®]
Omnipotence in Natural Herbs

UCLA 10年の研究開発により生まれた クルクミン素材 **ロングヴィーダ**

【カルフォルニア大学とUCLA

知の宝庫として名高いカルフォルニア大学 (UC) とその牽引役UCLA (カルフォルニア大学ロサンゼルス校) の実績

U C: 米国NSF(国立科学基金)研究費 獲得額 第一位

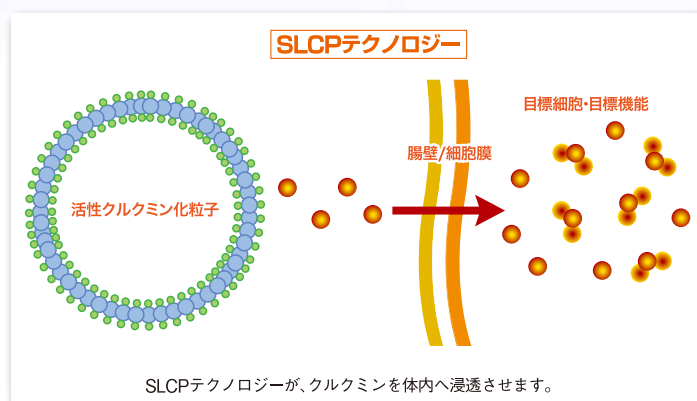
U C: 米国特許庁年次知財レポート 大学別獲得特許数 17年連続一位

U C L A: ノーベル賞受賞者5名を輩出

ロングヴィーダ: UCLA(メディカルスクール)で10年の研究開発により完成、
NIH(米国保健福祉省国立衛生研究所) 2009年奨学金成績第一位

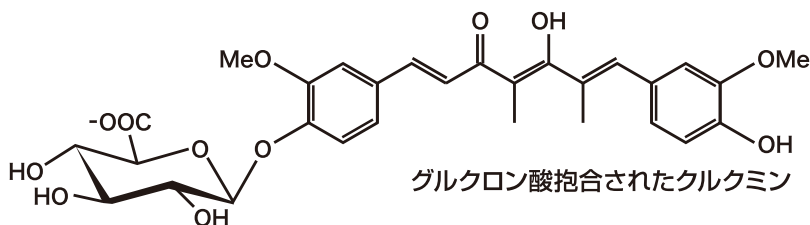
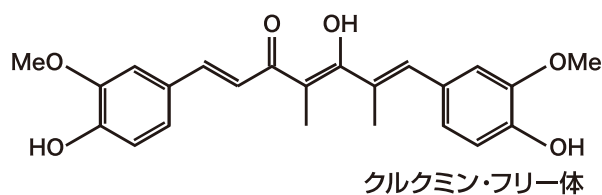


【UCLA開発の魂 先進のSLCPテクノロジー



SLCPテクノロジー (Solid-Lipid Curcumin Particle technology) とは、クルクミンが腸管から浸透して血液内、目標とする細胞、そして脳へ到達させる特許製法とフォーミュラを可能にした技術(特許出願中)。

経口されたクルクミン・フリー体が血漿中に到達する割合は一般に1%未満!!



クルクミンは酸性では吸収が極端に悪く、更に、中性〜アルカリ性では極端に分解が早いので、腸管から血中へ辿り着くことがきわめて困難である。それを乗り越え血中に到達しても、すぐに肝臓に運び込まれ、排泄プロセスであるグルクロン酸抱合を受け、異物として体外に放出されてしまう。その結果、クルクミン・フリー体が血漿中へ到達する割合は、経口摂取された量の1%未満である事が知られている。

これらの困難を克服し、クルクミン・フリー体を血漿中へ到達させることに成功したのが、ロングヴィーダに使用されているSLCPテクノロジーである。

【ウコン・ターメリック・クルクミン

ウコンは平安時代に国内に導入されたショウガ科の植物で、ターメリックはその英名。学名をCurcuma longaという。

カレーに使用されるスパイスとして有名で、身体に良いとされ、2,500以上の研究論文がこれまでに発表されているが、生体利用(生体吸収)や効果を示した臨床論文はこれまで0であった。



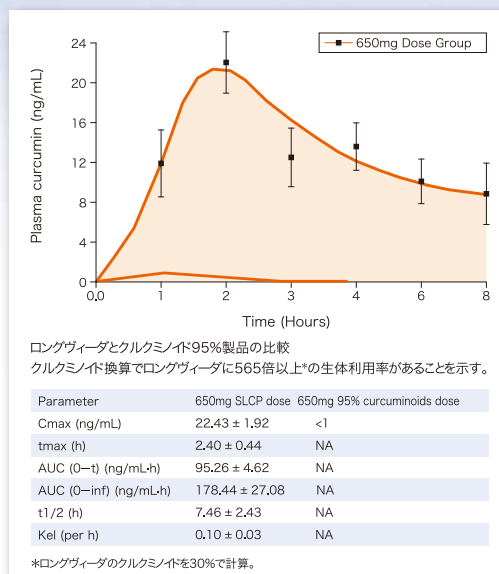
推奨摂取量 安全性

推奨摂取量	ロングヴィーダとして、400mg/day～。
安全性	NOAEL(最大無毒性量): 720mg/kg bw/dayを確認。LD50 : 2,000mg/kg bw 以上。 原料はすべて米国GRAS認証済みのものを使用。

オムニカのウコンは最大500倍*以上！

ロングヴィーダはSLCPテクノロジーにより、クルクミンの血中濃度を在来品と比較した場合に飛躍的に向上させることに成功した。

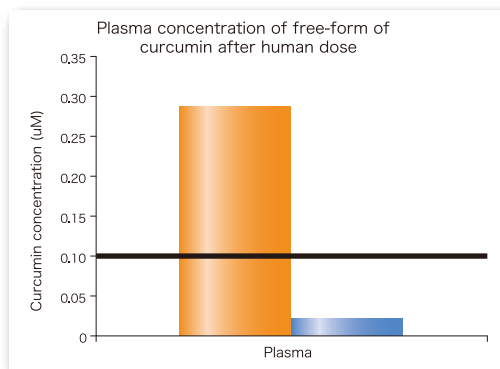
*右記グラフ参照のこと。ロングヴィーダのクルクミノイドを30%としてAUC(0-inf)を比較。



クリニカル・ユースに耐えるオムニカのウコン・ロングヴィーダ

クルクミンを臨床利用する場合、血漿中に0.1μM以上の蓄積量が必要とされる。一般的なクルクミン製品においてそれに到達したデータは皆無だが、ロングヴィーダはそれを大きく上回る0.3μMを達成した。

ロングヴィーダはクリニカル・ユースにおいて、アルツハイマー症の治療と予防に大きな期待がかけられている。



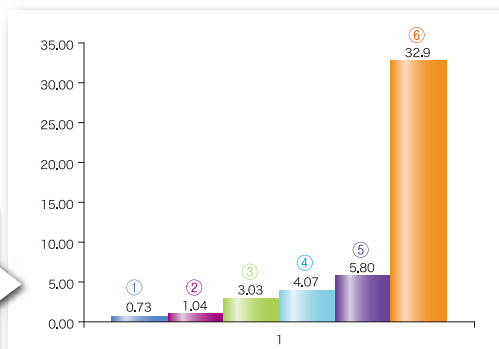
オムニカのウコンはクルクミンが脳にも届く！

フリー・クルクミンを体内に浸透させ、血中に効果を示すに十分なクルクミンを蓄えさせるロングヴィーダは、クルクミンを脳にも浸透させる。

4ヶ月間、各500ppmまたは2000ppm濃度の食事を与えられたマウスの脳内のクルクミン量を測定。

- ① 95%クルクミノイド製品500ppm
- ② 95%クルクミノイド製品2000ppm
- ③ 95%クルクミノイド+ビベリン混合品2000ppm
- ④ ロングヴィーダ先駆体
- ⑤ ロングヴィーダ500ppm
- ⑥ ロングヴィーダ2000ppm

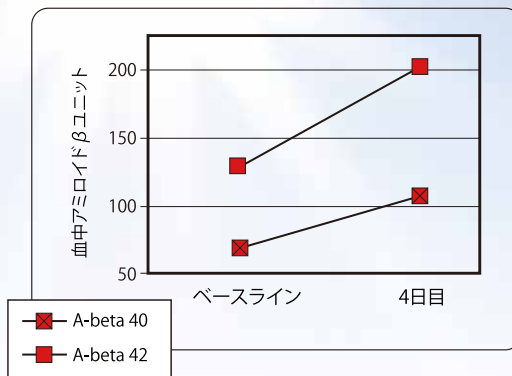
(単位 uM)



ロングヴィーダにかけられる大きな期待 アルツハイマー症の原因物質を脳から除去

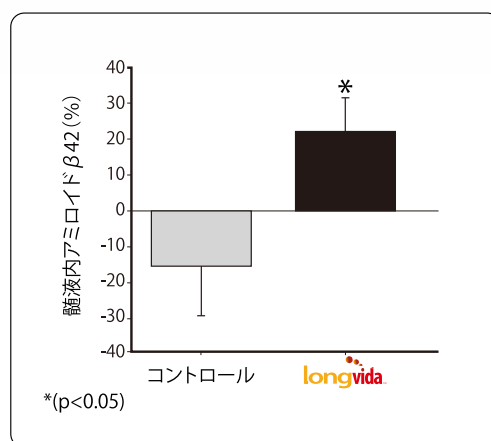
【アルツハイマー・マウスのアミロイドβ・プラーク除去（血漿へ）】

2mgのクルクミンをロングヴィーダとして摂取。ロングヴィーダによりアミロイドβ・プラークが脳から除去され血漿内に移された事を示す。この後血漿内のアミロイドβは速やかに排出される。



【アルツハイマー・マウスからアミロイドβプラークを除去（髄液へ）】

1か月10mg/kg以内のクルクミンをロングヴィーダから摂取させ、髄液内のアミロイドβ42ペプチドの量を測定し、コントロールと比較。髄液内のアミロイドβは速やかに排出される。



【タウ・タンゲル・マウスの記憶向上】

学習し記憶することにより、どれくらい記録が向上するかをみるテスト。ロングヴィーダ摂取マウスは月齢14~18カ月までの期間与えられた。未治療マウスに学習が見られないのに対し、ロングヴィーダ摂取マウスには、時間を短縮するトレンドが見られる。タウ・タンゲル・マウスにおいて、ロングヴィーダが学習記憶を向上させる結果が見られた。

